

杉並区一体型 GIS 構築等業務
公募型プロポーザル実施要領

令和 7 年 5 月

杉並区都市整備部土木管理課

1. 目的

杉並区（以下「区」という。）では、統合型 GIS と公開型 GIS を別々の事業者と契約して運用保守を行ってきました。

しかし、統合型 GIS で作成した地理情報は公開型 GIS でそのまま使用することができず、地理情報の公開に遅延が発生する状態（更新情報のタイムラグなど）が続いています。

今後、地理情報の増加や 3 次元データへの対応に伴い、統合型 GIS、公開型 GIS 及び窓口システムを同一システムとする一体型 GIS を構築することで、円滑な情報公開を図ることを目的としています。

そのため杉並区委託事業プロポーザル実施取扱要綱 4 条 2 項に基づきシステム構築、運用・保守及びハードウェア等周辺機器調達等について、事業者へ総合的な提案を求めるため、プロポーザル方式（公募型）により選定します。

2. 業務の概要

（1）業務名

杉並区一体型 GIS 構築等業務（以下「本業務」という。）

（2）業務内容

別紙 1 「業務説明書」のとおり

（3）履行場所

土木管理課

（4）履行期間

契約締結の翌日から令和 8 年 3 月 31 日まで（予定）

一体型 GIS の構築及び試験運用は、令和 8 年 3 月までに完了し、令和 8 年 4 月から本格運用を開始することとします。

※本件の契約締結には、GIS 運用保守業務は含まれていません。

（5）経費（上限額）

令和 7 年度

60,950,175 円（消費税及び地方消費税を含む。）

令和 8 年度（参考）

24,000,000 円（消費税及び地方消費税を含む。）

※ 令和 8 年度については、予算が確定していないため、金額については本プロポーザルの評価における参考金額であり、契約金額として確約するものではありません。

3. 参加資格

（1）プロポーザルに参加する事業者は、次に掲げる全ての要件を満たすものとします。

- ① 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 の規定に該当していないこと。
- ② 杉並区競争入札参加有資格者指名停止に関する要綱（平成 22 年 3 月 23 日杉並第 65476 号）に定める指名停止要件に該当していないこと。
- ③ 杉並区契約における暴力団等排除措置要綱（平成 23 年 1 月 17 日杉並第 53890 号）に定める除外措置要件に該当していないこと。
- ④ 会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）に基づく更生手続開始の申立て又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づく再生手続開始の申立てがなされていないこ

と。

- ⑤ 法人の場合、法人税、法人事業税及び地方法人特別税、消費税及び地方消費税を、個人の場合は所得税、消費税及び地方消費税を完納していること。
- ⑥ 提案業務又は類似する業務を引き続き2年以上営業していること。

4. 実施手順

内容		期日等
実施要領の公表		令和7年5月23日（金）
質問受付期間		令和7年5月23日（金）から 令和7年5月29日（木）午後5時まで（必着） ※質問及び回答は、令和7年6月5日（木）までに、 区公式ホームページ上で一括して公開する予定です。
企画提案書 等提出期間	参加意向表明、財務諸 表、会社概要資料	令和7年5月23日（金）から 令和7年6月11日（水）午後3時まで（必着）
	企画提案書、企画 提案書概要版	令和7年6月11日（水）から 令和7年6月19日（木）午後3時まで（必着）
第一次審査（書類審査）		令和7年7月1日（火）（予定） ※第二次審査の対象となる参加事業者を選定します （2～3事業者程度）。 第一次審査結果は令和7年7月8日（火）までに発送 する予定です。
第二次審査（プレゼンテーショ ン、ヒアリング審査）		令和7年7月23日（水）（予定）
受託者候補者選定結果の通知		令和7年7月下旬発送（予定）

5. 実施要領の内容についての質問の受付及び回答

（1）受付方法

様式4「質問書」に質問内容を記載の上、FAX又は電子メールにより提出してください。電話での質問及び回答に対する再質問には応じません。電子メールによる提出の場合は、件名を「杉並区一体型GIS構築等業務プロポーザル質問書【事業者名】」としてください。

（2）受付先

「11. 担当課（問い合わせ先）」に同じ。

（3）受付期限

令和7年5月29日（木）午後5時まで（必着）

（4）回答方法

質問に対する回答は、令和7年6月5日（木）までに、杉並区公式ホームページ上で公開します。（予定）

6. 企画提案書等の提出

(1) 提出書類

提出書類は、別紙4「提出書類一覧」のとおりです。

企画提案書は業務実施体制及び配置予定技術者のほかに「7. 受託者候補者の選定手順 (1) 主な評価基準 ○企画提案に関する評価基準」の評価項目ごとにまとめてインデックスを付けて提出してください。

参加事業者全ての企画提案書概要版をプロポーザル終了後区HPで公表します。

企画提案書概要版には、最低限以下の内容を記載してください。

- ① 受託業務に対する考え方(取り組み姿勢)・提案内容の全体像(企画提案書の評価項目の「業務の理解度」、「基本要件事項(別紙1 業務説明書)に対する提案」、「特性」、「防災情報の連携」、「システム運用保守」、「イニシャルコスト」及び「ランニングコスト」に関する内容を含む)
- ② 提案によって期待される効果

(2) 提出部数

提出部数は、別紙4「提出書類一覧」のとおりです。

提出書類は、正本・副本をそれぞれ製本(ファイル等で綴じる)し、提出書類一覧を先頭に綴じ、提出書類一覧の項目ごとにインデックスを付けて提出してください。また、表紙及び背表紙に、当該提出書類名(杉並区一体型GIS構築等業務公募型プロポーザル企画提案書)を付してください。

(3) 提出方法

提出書類の確認を行って受理しますので、原則、持参してください。(要事前予約)
なお、郵送等の場合は、提出書類に漏れがないよう留意し、書留郵便により提出してください。

※郵送の場合は、封書表面の欄外に「杉並区一体型GIS構築等業務委託公募型プロポーザル参加書類在中」と朱書きしてください。

(4) 提出先

「11. 担当課(問い合わせ先)」に同じ。

(5) 提出期限

- ・参加意向表明、財務諸表、会社概要資料
令和7年6月11日(水)午後3時 必着
 - ・企画提案書、企画提案書概要版
令和7年6月19日(木)午後3時 必着
- 未着・遅延等の場合は、原因の如何を問わず、未提出として取り扱います。

7. 受託者候補者の選定手順

杉並区一体型GIS構築等業務委託受託者候補者選定委員会(以下「選定委員会」という。)において、企画提案書等の提出された書類およびプレゼンテーション、ヒアリングの内容を審査し、本業務に最も適していると認められる事業者を選定します。

なお、2(5)の上限額を超える提案を行った参加事業者は審査対象となりません。

また、選定委員会で審査をした結果、一定の点数(第一次、第二次審査の配点総合計の6割以上)に満たない事業者については、契約の相手方の候補者とはしないものとします。

(1) 主な評価基準

○経営状況等に対する評価基準

評価項目	評価内容	評価指標（確認項目）
経営状況	経営状況は良好であるか	財務諸表
業務遂行力	業務の遂行体制は妥当であるか	企画提案書（配置予定技術者）
業務実績	自治体への GIS システムの導入・運用実績があり、導入後の成果検証が適切に行われているか	同種・類似業務の実績や利用状況等
区内事業者	区内に本店または支店があるか	履歴事項証明書

○企画提案に関する評価基準

評価項目	評価内容	評価指標（確認項目）
業務の理解度	区のシステム導入方針を十分に理解し、システム構築計画およびリスクマネジメント計画についても十分な方針が示されているか	企画提案書
基本要件事項に対する提案	区のシステム基本要件事項（別紙 1 業務説明書）を十分満足する提案がなされているか	
機能要件（非機能要件含む）要求事項に対する提案	機能要件確認書・非機能要件確認書の要求項目を満たしているか	企画提案書（機能要件一覧表）
特性	区の既存システムには無かった新技術導入の提案 ユーザーのニーズに対応する拡張性を有しているか	企画提案書
防災情報の連携	東京都の防災システムとの連携が可能か	
システム運用保守	平時のシステム等の保守、バックアップ方法、障害時の対応、SLAについて	
システムサポート	システムを十分に利活用するためのマニュアル・研修・操作環境等のサポート体制について	
資料調整能力	企画提案書は分かりやすいか	企画提案書のまとめ方
イニシャルコスト	コストは妥当か	見積書（類似案件実績との価格比較を含む）
ランニングコスト	コストは妥当か	

プレゼンテーション・システム デモ・ヒアリング	説明が論理的で説得力があるか	プレゼンテーション・システム デモ・ヒアリング内容
	質問の受け答えが的確か	
	利用者に分かりやすく使いやすい UI となっているか	
	検索、表示等基本機能の精度や反応速度は良好か	
	統合型 GIS、公開型 GIS、窓口システムのデータ管理やアクセス性は容易で素早い	

○社会的責任に対する評価基準

評価項目	評価内容	評価指標（確認項目）
社会的責任	区の施策や社会課題等へ適切に対応できるか	ISO14001 の取得状況、障害者の雇用状況、従事者の子育て支援、東京ライフ・ワークバランス認定企業制度による認定等
	適切な労働環境を確保しているか	

(2) 審査方法

①第一次審査（書類審査）

提出された企画提案書等に対し、選定委員会で第一次審査を実施し、第一次審査通過者（第一次審査配点合計の 6 割以上を取得した事業者のうち上位 3 事業者程度）を選定します。第一次審査の結果は令和 7 年 7 月 8 日（火）までに全ての第一次審査参加事業者に対して通知します。

②第二次審査（プレゼンテーション、ヒアリング審査）

第一次審査通過者に対し、選定委員会において、企画提案内容に係るプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、契約を締結する受託者候補者（第一次、第二次審査の配点総合計の 6 割以上を得た最上位の事業者）を選定します。

(3) 選定結果通知

令和 7 年 7 月下旬に、全ての第二次審査参加事業者に対して通知します。また、受託者候補者名は区ホームページ上で公表します。

※非選定の通知を受けた参加事業者は、非選定理由についての説明を求めることができません。

8. 参加者の失格

次のいずれかに該当する場合は、失格とします。この場合、既に提出された企画提案書等は返却しません。

ア 提出書類に虚偽の記載があった場合

イ 参加資格を満たさなくなった場合

ウ 企画提案書等が提出期限を過ぎて提出された場合

エ 参加事業者（参加予定者の関係者を含む）が、選定委員会等の設置から選定結果の通

知があるまでの間、選定委員会委員及びこの募集に関係する区職員に対し、当該選定に関して自己を有利にする又は他者を不利にすることを目的とした接触をした場合
なお、以下の場合などは、上記の接触には該当しません。

- ・実施要領に基づき区が実施する説明会・現地見学会等への参加
- ・実施要領に基づく区への質問及び書類の提出等
- ・現に区と契約等を締結している委託業務及び指定管理業務等の履行に必要な行為
- ・区が主催する審議会、意見交換会等への出席

オ 前各号に定めるもののほか、審査の公正性・公平性を害する行為や、提案に当たり著しく信義に反する行為があった場合

9. 結果の公表について

プロポーザル方式による透明性を確保するため、以下の内容については、区公式ホームページで公表します。

- (1) 件名
- (2) 選定事業者（事業者名及び所在地）
- (3) 参加事業者名（参加者が2者の場合も含む）
- (4) 選定経過
- (5) 選定理由
- (6) 選定委員の職名等及び氏名
- (7) 審査結果（評価項目及び評価点、評価点内訳）
- (8) 主管課
- (9) 会議録
- (10) 参加事業者全ての企画提案書概要版

10. その他留意事項

ア 本件に参加する費用は、全て参加事業者の負担とします。

イ 企画提案書等について情報公開請求があった場合は、杉並区情報公開条例に基づき、公開することがあります。

ウ 選定委員会で審査した結果、一定の点数（第一次、第二次審査の配点総合計の6割以上）を満たす参加事業者がいなかった場合、受託者候補者は選定しません。

エ 契約の締結にあたっては、原則として区指定の標準契約書を使用します。

オ 受託者候補者が区と契約を締結する場合、業務の全て又は主要な業務を一括して第三者に委託することを禁止します。業務の一部を第三者に委託しようとするときは、あらかじめ区の承諾が必要です。プロポーザルの公正性、透明性の観点から、原則として、プロポーザルで競合した事業者は再委託先とすることができません。ただし、主要な業務を除く一部の業務については、その委託の範囲や内容、委託予定金額等を踏まえ、本業務への影響が少ない場合、再委託を検討することができます。

カ 受託者候補者が失格要件に該当することが判明した場合、又は契約締結交渉が不調となった場合若しくは辞退した場合、次順位の参加事業者と契約締結交渉を行います。

キ 契約の締結に関しては、選定された受託者候補者と区が協議し、業務に係る仕様を確定させたうえで契約を締結します。また、仕様書の内容は提案された内容を基本としま

すが、受託者候補者と区との協議により最終的に決定します。

ク 書類提出後の企画提案書等の修正又は変更は認めません。ただし、選定委員会が認めた場合はこの限りではありません。

ケ 令和 8 年度の運用保守委託契約は区議会において当該事業に係る経費を含んだ予算案が可決・成立した場合に、本件とは別に単年度毎で契約締結する予定です。

1 1. 担当課（問い合わせ先）

杉並区都市整備部土木管理課道路台帳係 一体型 GIS 担当

所在地：杉並区阿佐谷南 1－15－1（杉並区役所西棟 4 階）

電 話：03-3312-2111（内線 3406）

F A X：03-3316-2470

E-mail：DOBOKU-KANRI@city.suginami.lg.jp

業 務 説 明 書

杉並区一体型 GIS 構築等業務

令和 7 年 5 月

杉並区都市整備部土木管理課

目次

1 一体型 GIS のシステム構築

- 1.1 統合型 GIS の構築概要
- 1.2 公開型 GIS の構築概要
- 1.3 窓口システムの構築概要
- 1.4 データの移行及びセットアップ
 - 1.4.1 レイヤ
 - 1.4.2 地図セット
 - 1.4.3 関連ファイル
- 1.5 データ表示の調整
- 1.6 マニュアル作成・操作研修
- 1.7 提出物

2 一体型 GIS の運用保守

- 2.1 運用保守業務の契約
- 2.2 運用体制

3 サーバ運用保守

- 3.1 サーバの設定および運用環境
- 3.2 データセンター
 - 3.2.1 立地
 - 3.2.2 耐震性能
 - 3.2.3 災害対策
 - 3.2.4 電源、空調設備
 - 3.2.5 セキュリティ
 - 3.2.6 障害対応
- 3.3 Service Level Agreement の規定

1 一体型 GIS のシステム構築

受託者は、以下に示す 3 種類のシステムを構築する。

(1) 統合型 GIS

主に庁内で職員が利用することを想定した GIS。

(2) 公開型 GIS

オンラインで一般公開された GIS。WEB ブラウザを用いて利用できる。統合型 GIS に搭載されている地理情報データの一部を搭載する。

(3) 窓口システム

来庁者がセルフで道路に関する情報の閲覧ができるシステム。統合型 GIS または公開型 GIS に搭載されている地理情報データの一部を搭載する。

1.1 統合型 GIS の構築概要

項目	内容
①構築方法	・ オンプレミス方式（庁内サーバ設置方式） ・ 統合型 GIS とデータ連携した窓口システムを構築
②ライセンス数	・ 端末数：約 3,200 台（庁内ネットワークに接続された業務用 PC） ・ 同時接続数：170 台
③動作環境	以下の環境で利用者がストレスなく利用できること。 ・ 回線速度：10Mbps ・ PC（令和 7 年度以降仕様変更の可能性あり） CPU：Intel Core i3（第 11 世代） メモリ：8.00GB ストレージ：HDD500GB OS：Windows 10 以降 ミドルウェア：.NET Framework 3.5 以降 ブラウザ：Edge
④基本要件	・ 区が独自に整備している杉並区基図及び住宅地図を背景地図として利用できること。 ・ GIS に不慣れな利用者でも容易に目的の操作が行えるよう操作性が優れていること。 ・ ストレスなく地図遷移や画面展開が可能である等、動作速度が優れたシステムであること。 ・ システム内に操作マニュアル等のヘルプ機能を有すること。 ・ 基本的にカスタマイズを要しないパッケージシステムとし、運用期間中（5 年間）に公開される各 OS やブラウザなどの最新バージョンに追加費用なしで速やかに対応すること。

	・一般的なパソコン等が有する基本的な機能のみで動作が可能であるものとする。システムの利用に際し、やむを得ず端末機にソフトウェア等のインストールが必要な場合は、区と協議した上で、必要な作業を行うものとする。 ・統合型 GIS と公開型 GIS とでスムーズなデータ連携ができること。 ・データのバックアップが可能であること。 ・人的過失による障害や運用ミス等によりデータを消失した場合、直近 2 週間分のバックアップデータを復元できること。
⑤機能要件	別紙 2-1,2「機能要件確認書」にて提示する。
⑥稼働	・平日の稼働を基本とする。 (土日祝祭日及び計画停止は除く。) ・稼働率は 99.0%以上とする。
⑦セキュリティ	・不正アクセスやウイルス対策などに万全を期すこと。
⑧その他	・新システムの運用においてハードウェアが必要となる場合は、必要となるサーバ及び関連する周辺機器を調達すること。 ① オンプレミス方式におけるサーバを調達する場合は、ラックマウントタイプとし、区の指示に従い庁内サーバ室に既設のサーバラックに設置すること。なお、UPS（無停電電源装置）も併せて調達し、設置すること。 ② ハードウェア等の調達にあたっては、機器等の明細を区に示し、承諾を得ること

1.2 公開型 GIS の構築概要

項目	内容
①構築方法	インターネット ASP 方式（庁外サーバ設置方式）
②ライセンス数	・ 月間平均アクセス数：100,000 件 ・ 年間平均アクセス数：1,250,000 件
③動作環境	以下の OS、WEB ブラウザおよびデバイスに対応すること。 ・ OS : Windows 11 以降、macOS 11 以降、Android 12 以降、iOS 15 以降 ・ WEB ブラウザ : Edge、Chrome、FireFox、Safari 等の主要な WEB ブラウザ ・ デバイス : スマートフォン、タブレット、ノート PC、デスクトップ PC 等の上記 OS 及び WEB ブラウザを搭載するデバイス
④基本要件	・ 公開型 GIS はデジタル庁が公表する「デジタル実装の優良事例を支えるサービス／システムのカatalog第2版『モデル仕様書((公開型 GIS)』」の必須機能に準拠した仕様とすることとし、かつ「デジタル地方創生サービスカatalog」に掲載されているシステムであること。 ・ 区が独自に整備している杉並区基図に加え、汎用性がある Google maps や Bing maps のようなオンライン地図サービスを背景地図として利用できること。 ・ GIS に不慣れな利用者でも容易に目的の操作が行えるよう操作性が優れていること。 ・ ストレスなく地図遷移や画面展開が可能である等、動作速度が優れたシステムであること。 ・ システム内に操作マニュアル等が格納されたヘルプがあること。 ・ 基本的にカスタマイズを要しないパッケージシステムとし、運用期間中（5年間）に公開される各 OS やブラウザなどの最新バージョンに追加費用なしで、受託者の責任において速やかに対応すること。 ・ 一般的なパソコン等が有する基本的な機能のみで動作が可能であるものとする。システムの利用に際し、やむを得ず端末機にソフトウェア等のインストールが必要な場合は、区と協議した上で、必要な作業を行うものとする。 ・ 統合型 GIS と公開型 GIS とでスムーズなデータ連携ができること。

	・データのバックアップが可能であること。 ・人的過失による障害や運用ミス等によりデータを消失した場合、直近 2 週間分のバックアップデータが復元できること。
②機能要件	別紙 2-3「機能要件確認書」にて提示する。
③非機能要件	別紙 3「非機能要件確認書」にて提示する。
⑥稼働	・24 時間 365 日の稼働を基本とする。(計画停止は除く) ・稼働率は 99.5%以上とする。
④セキュリティ	不正アクセスやウイルス対策などに万全を期すこと。
⑧その他	(1) 公開型 GIS のデータセンターは、以下に示す基準以上の仕様を備えたデータセンター内に設置すること。なお、データセンターは日本国内にあること。 ① 施設が耐震（免震）・耐火構造であること。 ② 24 時間 365 日稼働に対応していること。 ③ 電源供給が 2 系統以上あること。 ④ 非常用発電があること。 ⑤ セキュリティについて (ア) 有人(守衛など)によるビル入退室管理をしていること。 (イ) 技術員(保守員)が 24 時間 365 日体制で常駐していること。 (ウ) 機器監視による物理的侵入対策を 24 時間 365 日実施していること。 (エ) 不正アクセス自動監視を 24 時間 365 日実施していること。 (オ) セキュリティホール対策として修正パッチ等の日常管理体制を実施していること。

1.3 窓口システムの構築概要

項目	内容
①構築方法	統合型 GIS または公開型 GIS の構築で用いたいいずれかの方式
②ライセンス数	20 台 証明書発行システム：2 台
③動作環境	統合型 GIS をベースとする場合：1.1 に準ずる。 公開型 GIS をベースとする場合：1.2 に準ずる。
④基本要件	・統合型 GIS または公開型 GIS のいずれかをベースとしたシステムであること。

- ・統合型 GIS または公開型 GIS とデータの連携ができること。統合型 GIS または公開型 GIS に搭載されているデータが更新された際は、24 時間以内に窓口システムへ自動的に反映されること。
- ・利用者がタッチパネルを用いて直感的な操作ができること。
- ・一般的なパソコンが有する基本機能で動作し、ソフトウェア等のインストールが不要であること。ただし、ソフトウェア等のインストールが必要な場合は、区と協議のうえ作業を行うこと。
- ・窓口システムの運用に必要な機器（PC、ディスプレイ、プリンター、課金機等）は、別途用意するものとし、構築費用として計上すること。

ただし、区で保有している下記機器は運用する機器として活用しても良い。

①RICOH P C6010	2 台
②RICOH SP C750	2 台
③EPSON TM-T88IV	5 台
④RICOH AD タイプ 1001	5 台

⑤機能要件	別紙 2-4「機能要件確認書」にて提示する。
⑥その他	公開型 GIS をベースとする場合、必要な機器のリストアップを行うこと。

1.4 データの移行及びセットアップ

現行システムからの移行対象データは、以下の通りとする。

1.4.1 レイヤ

データ数：約 1,200 （令和 7 年 4 月時点）

図形情報及び属性情報の引継ぎに加え、図形等のスタイル設定（色、線の太さ等）も併せて引継ぐこと。

1.4.2 地図セット

データ数：約 190 件 （令和 7 年 4 月時点）

地図セット内に含まれているレイヤの引継ぎに加え、その地図セット特有のレイヤ表示設定及び色設定も引継ぐこと。属性値に基づく色等の表示設定や属性値を文字として表示する設定も同様に引継ぐこと。

1.4.3 関連ファイル

容量：約 800GB （令和 7 年 4 月時点）

レイヤに紐づけられている関連ファイルについて移行を行うこと。移行後、レイヤとの関連付けを行うこと。

1.5 データ表示の調整

2.4 データの移行及びセットアップにおいて表示設定等が引き継がれているかの確認のため、関係各課と2～3回打合せを行いながら表示の調整をすること。

1.6 マニュアル作成・操作研修

- (1) 操作マニュアル（システム管理者向け、一般職員向け）を作成すること。
- (2) 操作マニュアルは、GISに関する知識・技術のない職員にも理解できるようなわかりやすい内容にするように留意すること。
- (3) 操作マニュアルは、区で編集可能な電子データとしても提供すること。
- (4) 運用前の操作研修は、システム管理者向けに2回程度行い、一般職員向けにはオンライン配信を行い、配信内容を動画化しパソコンに備え付けられている標準ソフトで再生できるファイル形式で提出すること。

1.7 提出物

- (1) システム仕様書
- (2) テスト報告書
- (3) 打ち合わせ議事録
- (4) 各種マニュアル
- (5) 運用体制図
- (6) サービス仕様書
- (7) その他区が指示するもの

提出物は紙及び電子媒体とし、その他、区が指示するものについては、協議の上作成すること。

2 一体型 GIS の運用保守

2.1 運用保守業務の契約

システムの更新やシステム障害対応等、運用保守についてはシステムを構築した受注者が行うこととし、構築が完了次第、運用保守業務の契約を行う。(業務には以下の内容を含む)

- (1) 背景地図の更新及び管理・運用
- (2) ユーザー情報の更新
- (3) 主管課に対する運用支援
- (4) ヘルプデスクの設置
- (5) GIS アプリケーションの保守対応
- (6) 窓口管理用 PC のメンテナンス
- (7) アクセスログの報告
- (8) システムの変更・改修
- (9) オープンデータの掲載

2.2 運用体制

受託者は運用保守業務を遂行するために必要な十分な体制をとるものとし、あらかじめ体制表を提出する。運用体制を変更する場合は、区に相談のうえ事前に了解を得るものとする。

(1) 資材・消耗品等

本業務に必要な資材・消耗品等は受託者の負担とする。

(2) 不具合対応

運用に関して、不具合が生じた際は以下の対応を行う。

(ア) データが破損、消失した場合

毎日、取得しているバックデータから 2 営業日以内に復元することを原則とする。ただし、区の了解を得たうえであれば定期バックアップ等からの復元も可能とする。

(イ) 機器の不具合が発生した場合

区の連絡を受けてから 2 営業日以内に状況の確認を行い、速やかに復旧にかかる期間を区に報告する。区との協議のうえ復旧計画を作成・実行する。

(ウ) その他の不具合が発生した場合

速やかに状況の確認を行い、復旧にかかる期間を区に報告する。区との協議のうえ復旧計画を作成・実行する。

3 サーバ運用保守

3.1 サーバの設定および運用環境

- (1) サーバは、運用開始後において連続して運用する。
- (2) サーバに係るすべての機器は、受託者が管理・保守を行う。
- (3) サーバに係るすべての機器は二重化し、システムのメンテナンスや設定変更等で一方の機器が利用できない状況においても、もう一方の機器でサービスが提供できる体制を整える。
- (4) ASP サービス用のサーバおよび GIS エンジンに常時配信可能な状態に設定する。
- (5) 大量のアクセスに耐えられるよう、サーバの使用領域を設定していること。
- (6) 想定されるアクセス数に対して、利用者がストレスなくスムーズに利用できる回線等を備える。
- (7) アクセス状況に応じた適切な動作速度を維持するために、機器構成の増強等の対応が可能な設備を提供する。
- (8) 杉並区のホームページからスムーズにリンクするアドレス等を設定する。
- (9) 不正アクセスや情報改ざん等を防止するため、十分なセキュリティ対策を行う。

3.2 データセンター

使用するデータセンターは ISMS (ISO/IEC 27001) 認証の取得設備であることを必須とし、以下に示す基準以上の仕様を備えているものとする。

3.2.1 立地

- (1) 日本国内に有すること。
- (2) 地盤が強固な場所に立地していること。

3.2.2 耐震性能

- (1) SRC (鉄骨・鉄筋コンクリート構造) であること。
- (2) 耐震構造基準 (震度 6 弱の地震が発生した場合、梁・柱・耐震壁・仕上材の損傷が軽微もしくはほとんどない建築構造) を確保していること。
- (3) 地震時外力、風圧等について、建築基準法および施行令等具体的な規定に基づいて建築していること。

3.2.3 災害対策

- (1) 基盤設備等への浸水防止対策をしていること。
- (2) 防火設備および消火設備について、サーバールーム内に煙感知器を標準装備していること。
また、ガス消火器等による消火システムを採用していること。
- (3) 消防法を遵守しており、消火栓、消火器、スプリンクラー設備、自動火災報知設備および誘導灯等の消防用設備を保持していること。
- (4) 通信設備ビル基準に基づき、避雷針機能を設置していること。

3.2.4 電源、空調設備

- (1) 受電設備は二重化構成としていること。
- (2) UPS(無停電電源装置)を設備していること。
- (3) 電力供給の完全バックアップを無瞬断で実現していること。
- (4) 空調機は、24 時間 365 日連続運転を行っていること。

3.2.5 セキュリティ

- (1) 有人（守衛など）による建物の入退室管理をしていること。
- (2) 技術員（保守員）が 24 時間 365 日体制で常駐していること。
- (3) 機器監視による物理的侵入対策を 24 時間 365 日実施していること。
- (4) システム機器および通信設備の二重化を実施していること。
- (5) 不正アクセス自動監視を 24 時間 365 日実施していること。
- (6) セキュリティホール対策として修正パッチ等の日常管理体制を実施していること。

3.2.6 障害対応

- (1) 機器の障害等でサービスが停止しないよう、24 時間のシステム監視体制を組み、無停電装置の装備、ウィルスおよびハッキング対策、機器系統の二重化等を施し、万全の対策を講じること。
- (2) 万一の障害発生時においては、休日・深夜を問わず、即座に復旧体制を組む。また、随時杉並区に対して障害状況の報告および復旧の見込み、障害終息後には障害発生原因、再発防止策等の対応方針に関する報告を行う。
- (3) 障害発生時に備え、受託者は 24 時間 365 日対応の電話窓口を設置し、休日および深夜時間帯であっても、技術担当者との連絡がとれる体制をとる。
- (4) サービスの平均稼働率は、年間を通じて 99.95%以上とする。これを下回る場合で改善の余地が無いと見込まれる場合について、杉並区は本契約を解除できるものとする。

3.3 Service Level Agreement の規定

- (1) Service Level Agreement（以下、「SLA」とする）は杉並区の指示を受けた場合、内容案（別紙 5 参照）を基本に杉並区と受託者の協議のうえで規定する。また、SLA の内容は、運用上の問題点等が発生した場合も同様に協議のうえで見直しを行う。
- (2) 受託者は、SLA の遵守状況を毎月サービスレベル提供報告書において杉並区に報告する。また、各項目について適否判断、未達時においては、その内容等に関して一覧表形式にてとりまとめ、性能条件等の適否判断に必要となる根拠資料として、各種性能検査を行った際の検査結果の報告書も併せて提出する。
- (3) SLA の目標に対して未達の場合における対応方法は以下のとおりとする。
 - (ア) 未達事項が発生した場合は、直ちに、その内容を杉並区へ連絡するものとする。
 - (イ) 未達事項についての状況、原因、改善策等を「障害報告書」ないしは「SLA 未達報告書」としてとりまとめて、未達事項の発生より 5 日以内に提出すること。
 - (ウ) 上記報告書に従い、ただちに使用する設備および業務方法の改善を行うこと。

○統合型GIS ※記入欄にいずれかを選択入力（1対応可能、2オプション/カスタマイズで対応可能（追加費用）、3対応不可）

No	大分類	小分類	機能要件	詳細	記入欄
1	ポータルサイト	ポータルサイト	ポータルサイト	統合型GISのポータルサイトを提供すること	
2			お知らせ表示	ポータルサイトで新着情報・お知らせ等を表示する機能	
3			地図選択起動	ポータルサイト上で、地図（レイヤセット）を選択し、統合型GISを起動する機能	
4		ユーザ管理	登録・編集・削除	ユーザの登録・編集・削除を行う機能	
5			一括登録	CSV形式のファイルからユーザ情報を一括取込する機能	
6			検索	登録されたユーザを検索、表示する機能	
7		部署管理	登録・編集・削除	部署の登録・編集・削除を行う機能	
8			一括登録	CSV形式のファイルから部署情報を一括取込する機能	
9		ユーザ認証	ログイン	ユーザIDとパスワードによりシステム利用者を認証する機能	
10			管理ユーザの指定	システム管理者（又はシステム管理部門）や部署管理者を指定できること	
11		パスワード変更	パスワード変更	ユーザ／部署管理者／システム管理者がパスワードを変更する機能	
12			データアクセス制限	ログインユーザ（又は部署）により、利用可能なデータ（表示の可不可）を制限する機能	
13		アクセス制御	データ編集権限	レイヤ単位でデータ編集機能の利用を制御する機能	
14			データ印刷権限	レイヤ単位でデータ印刷機能の利用を制御する機能	
15			データエクスポート権限	レイヤ単位でデータエクスポート機能の利用を制御する機能	
16		レイヤ管理	属性設定	レイヤの属性項目を追加、名称変更、削除を行う機能	
17			検索	登録されたレイヤを検索、表示する機能	
18			複製	レイヤを別名のレイヤに複製する機能	
19			ゴミ箱	レイヤをゴミ箱に移動／復元／完全削除できる機能	
20			CSV出力	レイヤの一覧をCSV形式のファイルに出力する機能	
21		関連ファイル管理	編集	関連ファイルの管理部署などを変更する機能	
22			公開レベル設定	関連ファイルに対する公開レベル（全庁、部署指定、ユーザ指定、非公開）を設定する機能	
23			検索	登録された関連ファイルを検索、表示する機能	
24		利用中ユーザ管理	CSV出力	関連ファイルの一覧をCSV形式のファイルに出力する機能	
25			利用中ユーザ確認	現在利用中のユーザを表示する機能	
26		自動タイムアウト	利用状況管理	現在利用中のユーザの最終更新日次を表示する機能	
27			自動タイムアウト	任意に設定した時間、システム操作をしなかったユーザを自動でログアウトする機能	
28		お知らせ管理	お知らせ表示	ポータルサイトのお知らせ内容を追加、編集、削除する機能	
29			ログ管理	ログインからログアウトまでの主な操作履歴をログとしてサーバーに記録する機能	
30		ログ管理	ログ検索・表示	期間、部署、ユーザ等の単一条件並びに複数条件で絞り込み、該当するログのみ表示する機能	
31			ログ出力	全ログ又は条件絞り込み後のログをCSVファイルで出力する機能	
32	全般	全般	表示設定	システムメニューの色（画面テーマ）を変更する機能	
33			システム情報表示	現在使用中（ログオン中）のユーザ情報を表示する機能	
34			メニューの表示・格納	地図の表示範囲を大きくする為にメニューなどを格納できる機能	
35			表示サイズ自動調整	地図や機能メニューがウィンドウサイズと連動し自動調整する機能	
36			操作コントロール表示・非表示	方位シンボル、スケールスライダー、スケールバーなどを表示・非表示する機能	
37			ヘルプ	機能メニューにマウスアイコンを合わせると、ヘルプが表示される機能	
38			Undo/Redo機能	移動や作図など操作全般において、直前に行った操作を取り消し、元に戻す機能	
39			終了	システムを終了する（編集中のファイルがある場合は保存するか問合わせる）	
40		ファイル	新規作成	地図ファイルを新規に作成する機能	
41			開く	既存の地図ファイル（レイヤセット）を開く機能	
42			保存	地図ファイル（レイヤ又はレイヤセット）を保存する機能（保存先はサーバ又はローカルディスクを選択可能とする）	
43			名前を付けて保存	別名で地図ファイル（レイヤ又はレイヤセット）を保存する機能（保存先はサーバ又はローカルディスクを選択可能とする）	
44			最近開いたファイル	ログインユーザが最近開いた地図ファイルの一覧を表示する機能	
45		拡大・縮小	定率拡大・縮小	表示地図の縮尺を一定割合で拡大・縮小する機能	
46			矩形拡大	表示地図領域内でマウスで選択した矩形領域に拡大する機能	
47			スライダー	スライダーを操作することで地図を拡大・縮小する機能	
48			縮尺指定	指定の縮尺で地図を表示する機能	
49			マウスホイールによる拡大縮小	マウスホイールの操作により地図を拡大・縮小する機能	
50		移動	指定位置中心表示	マウス操作により表示地図の任意の箇所1点を指定し、指定した箇所を画面の中心に表示する機能	
51			ドラッグ移動	マウス操作により地図をつかんだようにして移動させる機能	
52			座標指定	座標値を任意に入力して、入力した座標位置を中心に地図を画面表示する機能	
53		地図回転表示	回転表示	北を上で表示する以外に、任意確度で地図を表示する機能	
54			マウスによる回転表示	方位を示すコンパスをマウス操作することで地図を回転表示する機能	
55			回転角度入力	指定した任意の角度で地図を表示する機能	
56			回転表示後の操作	地図を回転表示した後もすべての機能が利用できること	
57		連続スクロール	連続スクロール	地図を任意方向に連続スクロールする機能	
58		お気に入り表示	お気に入り表示	地図表示の場所・縮尺を保存でき、保存した表示状態で地図を再表示する機能	
59		ワイプ表示	ワイプ表示	指定したレイヤの一部をめくるように操作し、下にある図面を表示する機能	
60		地図のコピー	地図のコピー	現在表示している全領域または範囲指定領域の地図画像をクリップボードにコピーする機能	
61		全域表示	全域表示	地図又はレイヤの全域を表示する機能	

○統合型GIS ※記入欄にいずれかを選択入力（1対応可能、2オプション/カスタマイズで対応可能（追加費用）、3対応不可）

No	大分類	小分類	機能要件	詳細	記入欄
62	地図表現	ラスター	ラスター	ラスターデータをレイヤとして重ね合わせる機能	
63			透過表示	ラスターデータを透過して重ねあわせ表示する機能	
64		ベクター	ベクターデータ表示	ベクターデータをレイヤとして重ね合わせる機能	
65			アンチエイリアス	ベクターデータをアンチエイリアスして表示する機能	
66			透過表示	ベクターデータを透過して重ねあわせ表示する機能	
67		タイル画像	背景タイル画像	タイル形式の背景画像を背景図として表示する機能	
68	索引図	索引図表示	案内図表示	メインの地図画面とは別に全体図（索引図）を表示し、メイン地図画面の表示領域を示す機能	
69			索引図指定移動	索引図上をマウス操作でクリックし、メイン地図画面の表示位置を案内図上でクリックした位置に移動する機能	
70	2画面表示	2画面表示	2画面表示	2つの地図画面を並べて表示する機能	
71		2画面同期表示	2画面同期表示	メイン地図の動きと同期してサブ地図画面も拡大/縮小・移動する機能	
72		2画面非同期表示	2画面非同期表示	メイン地図とサブ地図をそれぞれ拡大/縮小・移動する機能	
73		サブ画面表示	レイヤ管理	任意レイヤをサブ地図画面表示する機能	
74			レイヤセット	サブ地図画面のレイヤセットを保存し、呼び出す機能	
75	その他地図表示	凡例表示	凡例表示	各レイヤの凡例（主題図凡例）を表示する機能	
76			規定凡例設定	任意の画像をレイヤの凡例として設定・表示する機能	
77		縮尺表示	縮尺表示	表示中の地図の縮尺を表示する機能	
78		座標表示	中心座標表示	画面上に表示している地図の中心座標を表示する機能	
79			マウス追跡	地図画面上に表示しているマウスカーソルの座標値を追跡表示する機能	
80		スケールバー表示	スケールバー表示	表示中の地図縮尺に対応したスケールバーを表示する機能	
81		コンパス表示	コンパス表示	方位を示すコンパスを表示する機能	
82	レイヤ管理	レイヤ管理	レイヤ管理	レイヤを新規作成、コピー、名称変更、削除する機能	
83			レイヤの編集設定	指定レイヤを作図（編集）可／不可を設定する機能	
84			フォルダ管理	複数のレイヤをフォルダに分けてグループ化する機能	
85			レイヤの公開設定	作成したレイヤを他のユーザが参照・編集できるよう共有する機能	
86			レイヤを背景図として保存	指定レイヤを背景図として保存する機能	
87		レイヤ表示	レイヤのON/OFF	画面上に表示させるレイヤを任意にON/OFFする機能	
88			地物表示設定	レイヤの地物を分類ごとに表示・非表示を設定する機能	
89			優先スタイルの設定	レイヤごとに線種、線色、塗りつぶし色、透過等の表現（スタイル）の優先スタイルを設定・変更する機能	
90			レイヤの並び順変更	レイヤの並び順（優先表示順位）を変更する機能	
91			レイヤの表示スケール設定	レイヤ毎に、表示される縮尺の範囲を設定する機能	
92		レイヤセット	レイヤセットの保存	レイヤ表示のON/OFFや、スタイルを記憶し、名前をつけてレイヤセットとして保存する機能、複数のレイヤセットが保存可能	
93			レイヤセットの呼び出し	保存されているレイヤセットを呼び出す事で、保存時に設定したレイヤのON/OFFやスタイルを反映し、表示する機能	
94		基本属性	基本属性情報	図形に対応するテキスト情報などを属性情報として関連付けて管理する機能	
95			複数属性表示	属性表示画面を複数同時に表示する機能	
96			属性データ型	属性情報として各種のデータ型を利用できる（文字列／整数／実数／日付／リンク（添付ファイル）	
97			属性登録	作図した図形に対して関連する属性を入力し付与する機能	
98			属性一括取り込み	共通するキー（IDや個別値）を元にExcelファイルから属性を一括で取り込む機能	
99			チップ表示	図形にマウスカーソルを近づけると属性情報を簡易表示する機能	
100			指定属性選択	設定された選択肢をプルダウンで表示し、選択して属性値を入力する機能	
101			属性編集	指定した図形に関連付く任意の属性の値を編集し、更新する機能	
102			属性削除	指定した図形に関連付く任意の属性の値を削除する機能	
103	属性表示	1点指定	1点指定	マウス操作により地物をクリックし、対象地物の属性を表示する機能	
104			複数図形が重なっている時の選択補助	マウス操作で指定した地点に複数図形が重なっている場合に、選択しやすく表示する機能	
105	属性管理	属性管理項目追加	属性管理項目追加	レイヤに属性項目を追加する機能	
106			属性管理項目編集	レイヤの属性項目を編集する機能	
107			属性管理項目並び替え	レイヤの属性項目を並び替える機能	
108			属性管理項目削除	レイヤの属性項目を削除する機能	

○統合型GIS ※記入欄にいずれかを選択入力（1対応可能、2オプション/カスタマイズで対応可能（追加費用）、3対応不可）

No	大分類	小分類	機能要件	詳細	記入欄
109	属性管理	属性一覧表示	一覧表示	指定レイヤの属性情報を一覧表示する機能	
110			属性値編集	一覧上での属性項目を編集する機能	
111			一覧から地図表示	一覧表示上で選択した図形を地図画面の中心に表示する機能	
112			円入力指定	マウス操作により地図上に円を入力し、円内に含まれた地物の属性を抽出して表示する機能	
113			多角形入力指定	マウス操作により地図上に多角形を入力し、入力した多角形内に含まれた地物の属性を抽出して表示する機能	
114			並び替え	一覧表示の列を指定して昇順・降順の並び替えを行う機能	
115			列順変更	一覧表示の列を入れ替える機能	
116			簡易集計機能	一覧表示の列内に含まれる種別ごとの数量を集計表示する機能	
117			計算列追加	属性を利用した四則演算の結果、図形の面積等を計算した値を作成する機能	
118			住所列追加	レイヤがもつ全図形の中心点の住所を属性として追加する機能	
119			標高値追加	レイヤがもつ全図形の中心の標高値を属性として追加する機能	
120			グリッド値列	指定したグリッドの値を属性として追加する機能	
121			メッシュコード値列	レイヤがもつ全図形の中心のメッシュコード（1次～4次）を属性として追加する機能	
122			属性値集計	指定した図形に対して一部でも重なりのある他レイヤの図形の属性値を集計する機能	
123			ポイント集計	他のレイヤ上にあるポイント（点）の数を集計して属性をして追加する機能	
124			ポリゴン集計	他のレイヤ上にあるポリゴン（多角形）の数を集計して属性として追加する機能	
125			値の一括更新	一覧上の列（項目）の値を一括で更新する機能	
126			行非表示	一覧上で選択した行（図形）を一時的に非表示にする機能	
127			列非表示	一覧上で選択した列（項目）を一時的に非表示にする機能	
128			一覧出力	一覧をCSV形式のファイルに出力する機能	
129			チップ表示	一覧上の行にマウスを近づけると該当する地図上の図形をサムネイル表示する機能	
130			文字サイズ	一覧上の文字のサイズ（大・中・小）を変更できる機能	
131		検索	絞り込み検索	指定条件（名称・属性名・属性値など）で絞り込み検索を実行し、検索結果を一覧表示すると共に該当する図形のみを表示する機能	
132			絞り込み検索（計算式）	図形の属性データやジオメトリプロパティを使って計算された値でレイヤ内の図形を絞り込み表示する機能	
133			エリア絞り込み検索	選択している図形範囲内に入る図形に絞り込み、一覧表示する（範囲外も指定可）機能	
134			検索条件の保存・再利用	検索条件を名前を付けて保存し、再度同様の検索を行う際に利用できる機能	
135			属性検索	指定した文字列で属性を検索する機能	
136	関連ファイル	関連ファイル管理	関連ファイル一覧表示	図形と関連付けられた関連ファイルが、一覧で表示され確認できる機能	
137			関連ファイル追加、編集	レイヤ内の各図形に関連ファイルを追加する機能	
138			関連ファイル削除	レイヤ内の各図形に関連ファイルを削除する機能	
139	検索	地図検索	住所検索	住所一覧を選択しながら、当該住所の場所を表示する機能	
140			地番検索	地番一覧を選択しながら、当該住所の場所を表示する機能	
141			表札検索	指定住所内の住宅地図の表札名を検索し、当該場所を表示する機能	
142			目標物検索	目標物名の分類、キーワードにより、該当する目標物の場所を検索・表示する機能	
143			緯度経度検索	指定した緯度経度の場所を表示する機能	
144			串刺検索	画面に表示中の地図データを対象としてマウスでクリックした地点の全ての属性を一覧表示する機能	
145			全文検索	住所や目標物に対する全文検索を行い、該当する場所を表示する機能	
146			あいまい検索	任意に設定した対象レイヤ・属性に対して、部分一致検索を行い、検索結果を表示する機能	
147	印刷	通常印刷	地図印刷（直接）	画面表示した地図データを接続されているプリンタにて紙に印刷する機能	
148			地図印刷（PDF形式）	画面表示した地図データをPDF出力する機能	
149			印刷プレビュー	印刷状態を画面上で確認する機能	
150			印刷プレビュー移動	プレビュー上で位置を調整する機能	
151			縮尺変更	印刷プレビュー上で地図縮尺を変更する機能	
152			余白指定	印刷プレビュー上で印刷余白を確認しながら変更する機能	
153			用紙指定（A0～A4、縦横）	印刷プレビュー上で印刷範囲を確認しながら用紙（A0～A4、縦横）を変更する機能	
154		凡例印刷	印刷レイアウトの変更	印刷レイアウト（印刷時の地図や余白、装飾の配置）を自由に変更・設定できる機能	
155			印刷テンプレート	印刷テンプレートとして保存されたを任意の印刷レイアウト呼び出して印刷する機能	
156			印刷テンプレートの保存	設定した印刷レイアウトを印刷テンプレートとして保存できる機能	
157			印刷時の装飾	印刷する地図にタイトルや方位シンボル等の装飾を施す機能（タイトル、方位シンボル、スケールバー、縮尺文字列、索引図、地図凡例、主題図凡例、任意のテキスト、任意のピクチャ、属性情報、注意文等）	
158		分割印刷	任意データの貼り付け	クリップボードにコピーされた任意の画像や表データ、グラフを貼り付ける機能	
159			自由範囲指定	プレビュー上で位置、分割数、印刷範囲、縮尺を設定する機能	
160			印刷対象選択	プレビュー上で指定した範囲のうち、指定した図郭の印刷の有無を選択する機能	
161			印刷枠の重なり調整	印刷枠を配置する際に、印刷枠の重なり幅（余白）を調整する機能	
162			索引図印刷	索引図（連続印刷枠）を印刷する機能	

○統合型GIS ※記入欄にいずれかを選択入力（1対応可能、2オプション/カスタマイズで対応可能（追加費用）、3対応不可）

No	大分類	小分類	機能要件	詳細	記入欄
163	計測	計測図形	距離計測	地図上でマウスクリックにより指定した多点間の区間距離および累計距離を計測する機能	
164			面積計測	地図上でマウスクリックにより指定した多角形の面積を計測する機能	
165			緯度経度計測	地図上でマウスクリックにより指定した地点の緯度経度を表示する機能	
166			標高計測	地図上でマウスクリックにより指定した地点の標高を表示する機能	
167			図形計測	既存地物をマウスクリックにより選択し、その面積・周長を計測する機能	
168			垂線長	垂線長を計測する機能	
169			選択図形面積	選択したポリゴンの総面積を計測する機能	
170			選択図形延長	選択したライン・ポリゴンの総延長を計測する機能	
171			所要時間計測	開始時間、速度を指定し、地図上でマウスクリックにより指定した地点の各区間および累積の所要時間を表示する機能	
172		計測結果	計測結果保存	計測結果を保持する機能	
173			計測結果を表示、削除する	計測結果を表示、削除する機能	
174		計測補助	スナップ計測	指定したレイヤーの図形に対してスナップしながら計測する機能	
175			トレース計測	指定したレイヤーの図形に対してトレースしながら計測する機能	
176			確定、キャンセル、1点戻る	計測中の図形に対して、確定（Enter）、キャンセル（Esc）、1点戻る（BackSpace）機能	
177	作図・編集	作図・図形編集	点（アイコンシンボル）	所定のレイヤに点（アイコン・シンボル）を作図・登録する機能	
178			シンボル登録	任意の画像をシンボルとして登録する機能	
179			線	マウス操作により線を作図・登録する機能	
180			矢印作図	マウス操作により方矢印、両矢印の線を作図・登録する機能	
181			面（多角形）	マウス操作により多角形を作図・登録する機能	
182			面（円1）	マウス操作により中心と円周上の点を指定して円を作図・登録する機能	
183			面（円2）	円の半径を指定し、円中心を地図上で指定して円を作図・登録する機能	
184			楕円	マウス操作により楕円の1軸と円周上の点を指定して楕円を作図・登録する機能	
185			面（同心円）	円の半径・ピッチ等を指定して、地図上に同心円を作図・登録する機能	
186			面（矩形）	マウス操作により矩形（長方形）を作図・登録する機能	
187			文字	文字を作図・登録する機能	
188			円弧作図	マウス操作により円弧の線を作図・登録する機能	
189			扇型作図	マウス操作により扇型の面図形を作図・登録する機能	
190			格子	X,Yの距離（m）を指定し、等間隔で点又は線を作図・登録する機能	
191			フリーハンド作図	マウス操作による軌跡で線を作図・登録する機能	
192			フリーフォーム作図	マウス操作により閉じた図形または線を作図・登録する機能	
193			バッファ図形作図	オフセット値を指定して、バッファ図形を作図・登録する機能角端・丸端の両方に対応すること	
194			バッファ均等分割作図	オフセット値と長さを指定して、指定長で区切られたバッファ図形を作図する機能	
195			吹き出し文字作図	吹き出し文字を作図・登録する機能	
196			オフセット線作図	オフセット値を指定して、指定した位置と平行な線を作図・登録する機能	
197		図形編集	線種、太さ、色、サイズ（シンボル）、位置（文字）	線種、太さ、色、サイズ（シンボル）、位置（文字）等の属性を編集する機能	
198			スタイルプレビュー	線種、太さ、色等の設定を確定する前に、反映後の見栄えをリアルタイムにプレビューできる機能	
199			削除	作図済みの図形を削除する機能	
200			移動・回転・サイズ変更	作図済みの図形を移動、回転、サイズ変更を行う機能	
201			頂点追加	作図済みの線・多角形図形に頂点を追加する機能	
202			頂点移動	作図済みの線・多角形図形の頂点を移動する機能	
203			頂点統合	作図済みの線・多角形図形の頂点を既存頂点と統合する機能	
204			頂点削除	作図済みの線・多角形図形の頂点を削除する機能	
205			図形のグループ化	複数の図形のグループ化・グループ化解除が行える機能	
206			図形演算・結合	複数の図形を演算（足し算・引き算・排他・交差）し、新たな図形を作成する機能	
207			シンボル変更	作図済みの点図形に割り当てられるアイコン・シンボルを変更する機能	
208			文字列変更	作図済みの文字列図形に割り当てられる文字列の内容を変更する機能	
209			テキストの編集	テキストの内容、フォント、太文字、斜体、位置揃えなどを変更する機能	
210			サイズ変更	作図済みの点図形や文字列図形のサイズを変更する機能	
211			図形変換	作図済みの線を面に、面を線に変換する機能	
212			シンボル変換	作図済みの図形をシンボル、シンボルを図形に変換する機能	
213			外形線抽出	作図済みの面図形の外形線を抽出して線図形を作成する機能	
214			複製	選択された図形を複製して登録する機能	
215	図形編集補助	図形編集補助	スナップ機能	図形の作図時に既存の図形の頂点や辺に吸着させる機能（頂点スナップ、辺スナップ等）	
216			円半径入力	半径を数値で入力して円図形を登録する機能	
217			編集中の地図操作	図形の編集中でも、地図の拡大・縮小、スクロール等の地図操作が行える機能	
218			トポロジ構造	複数図形が接する頂点または境界線を共有してデータを管理できる機能共有する頂点の移動、追加、削除を行うことができること	
219			トポロジ作図	既存図形に重なる図形を作図した際に、優先した図形を基準にして、共有する境界線を生成する機能	

No	大分類	小分類	機能要件	詳細	記入欄
220		図形演算	面分割	面図形を任意の線で分割する機能	
221			バッファ作成	指定したレイヤー（点・線・面）の図形に対してバッファを作成する機能	
222			バッファ図形一括発生	指定したレイヤー（点・線・面）の全図形に対して、一括でバッファを作成する機能	
223			図形演算	複数の図形を演算（足し算・引き算・排他・交差）し、新たな図形を作成する機能	
224	解析等	主題図機能	ラベル主題図	属性情報の値を地図上に文字表示する機能	
225			レンジ主題図	属性情報の値の範囲で地図上の図形色分け、シンボル分け表示する機能	
226			個別値主題図	属性情報の値で地図上の図形色分け、シンボルを表示する機能	
227			円棒グラフ主題図	属性情報の値で地図上に円グラフや棒グラフを表示する機能	
228			クロスレンジ主題図	二つの数値情報をもとに段階的に地図の塗り分けを行う機能	
229			可変シンボル主題図	属性情報の値で地図上に可変シンボル表示する機能	
230			ラベル主題図の注記自動再配置	ラベル主題図において、注記を適切に再配置する機能	
231			住宅地図ラベル	ラベル主題図において、注記を建物図形内に収まるように自動配置する機能	
232			ラベル主題図のコメント表示	ラベル主題図において、注記を吹き出しやボックステキストとして表示する機能	
233			ラベル主題図の地図上のサイズで表示	ラベル主題図において、地図の縮尺にかかわらず、指定したサイズで注記を表示する機能	
234			ラベル主題図のラインに沿ったラベルの表示	ラベル主題図において、注記をラインに沿って表示する機能	
235			ラベル主題図のオフセット指定	ラベル主題図において、注記の位置をオフセット値にて指定する機能	
236			主題図凡例表示	主題図の凡例を表示する機能	
237			主題図の記憶	ログアウト時にチェックONしていたレイヤセットを、次回起動時に自動的に適用する機能	
238			グレースケール主題図	指定したレイヤをグレースケールで表示する機能	
239			グリッドカラーセット	指定したグリッドレイヤのカラーセットを設定する機能	
240			既定の主題図	設定した主題図を地図起動時に表示する機能	
241			引き上げ	2D図形が3D図形の上に表示されるような3D図形を作成する機能	
242			立ち上げ	選択された2D図形の属性値を高さを利用して3D図形を作成する機能	
243		解析・分析	ルート検索	最適なルート（最短・主要道優先・通行止め配慮）を検索し、結果を保存する機能	
244			到達圏分析	任意の地点から道路距離で、到達する範囲を検索する機能	
245			ポリノイ図	ポリノイ図を作成する機能	
246			商圏作成	ポイントデータを基に指定した同一半径円、到達圏を一括で作図する機能	
247			サークル分析	複数のシンボルから同一半径円、重心円を作成する機能	
248			密度分布	レイヤ内の図形の数や属性を基に、密度分布により色分けされたグリッド表現をする機能	
249			カーネル密度分布	レイヤ内の図形の数や属性を基に、カーネル密度推定により色分けされたグリッド表現をする機能	
250			グリッド間演算	複数の分析結果であるグリッドを演算（足し算、最小値など）して新しいグリッドを作成する機能	
251			オーバーレイ解析	2つのレイヤを指定して、その中にある図形の重なりを元にした図形を別レイヤとして作成する機能	
252			統計情報	統計情報をもとにグリッドを作成する機能	
253			按分集計	指定したレイヤ上の図形の属性値を指定した範囲ごとに按分で集計する機能	
254	出力	画像ファイル出力	画像ファイル出力	表示中の地図を指定された用紙サイズで出力する機能(BMP形式、JPG形式、PNG形式、GIF形式、TIFF形式、PDF形式)	
255		Shapeエクスポート	Shapeエクスポート	Shapeファイル形式で、レイヤデータをエクスポートする機能	
256		CSVエクスポート	CSVエクスポート	CSVファイル形式で、レイヤの属性データをエクスポートする機能	
257		KMLエクスポート	KMLエクスポート	KMLファイル形式で、レイヤデータをエクスポートする機能	
258	入力	アドレスマッピング	住所情報取り込み	EXCEL/CSVファイルを用いてアドレスマッピングインポートを行い、図形データ(ポイントデータ)を地図上に一括登録する機能	
259		Shapeインポート	Shapeファイルインポート	Shapeファイルをインポートする機能	
260		DXFインポート	DXFファイルインポート	DXFファイルをインポートする機能	
261		KMLインポート	KMLファイルインポート	KMLファイルをインポートする機能	
262		Exifインポート	Exifインポート	位置情報付きのJPEGファイルを定められた位置へ取り込む機能	
263		画像	画像	画像を地図上に取り込む機能	

別紙2ー2 機能要件確認書

○統合型GISサブシステム

・道路管理・地籍サブシステム

※記入欄にいずれかを選択入力（1対応可能、2オプション/カスタマイズで対応可能（追加費用）、3対応不可）

No.	カテゴリ/機能名	帳票	説明	記入欄
	基準点			
1	印刷	○	地図上で範囲指定し、基準点、座標一覧を含む公共基準点配置図を生成する	
2	取込		Excelファイル形式の基準点データを地図に取り込む	
	地籍調査			
3	印刷	○	地図上で範囲指定し、基図、筆界点、地番、座標一覧を含む地籍調査成果資料を生成する	
4	筆数		選択したポリゴン内の筆数を計測する	
	道路境界			
5	印刷	○	地図上で範囲指定し、その範囲内の道路境界点を含めた地図及び座標一覧をPDF出力する	
	狭あい道路			
6	協議台帳出力	○	選択した図形の協議書を出力する	
7	コピー（台帳→整備箇所）		選択した整備箇所図形に、地図上で重なる協議台帳の情報をコピーする	
8	引継ぎ（認定）		選択した整備箇所図形を、指定のレイヤにコピーし、引継情報を更新する	
	認定改廃			
9	案内図出力	○	選択した図形に関する案内図を出力する 案内図種類：区域変更図、交換・用途廃止図、区認定道路図、区有通路図、調査依頼箇所図	
10	コピー		選択した調査依頼箇所図形を、指定のレイヤにコピーする	
	閲覧用へコピー			
11	コピー		選択した図形を、閲覧用のレイヤにコピーする	

・避難所運営サブシステム

No.	機能名	帳票	説明	
	災害の登録/解除			
1	新規作成/災害の解除		現在発生中の災害の有無によってボタンが切り替わる [新規作成]：現在発生中の災害が無い場合に、災害情報を新規登録する [災害の解除]：現在発生中の災害がある場合に、解除する	
2	災害情報の編集		選択した災害情報を、現在発生中の災害として登録する	
	避難者情報			
3	取込		各救護所情報ファイルから情報を取得し、一般避難者リスト及び在宅避難リストの情報を更新する	
4	検索		避難者情報を検索する	
5	書出	○	一般避難者リストのデータをExcelファイル出力する	
6	名簿印刷	○	全件または避難所別に、一般避難者リストを帳票形式でExcel出力する	
	被害情報			
7	被害情報の入力		被害者情報を登録する	
	ボランティア情報			
8	取込		各救護所情報ファイルから情報を取得し、ボランティアの情報を更新する	
9	検索		ボランティア情報を検索する	

・要望受付サブシステム

No.	機能名	帳票	説明
	要望受付簿		
1	新規登録		要望処理原簿に新規の情報を登録する
2	要望受付書印刷	○	選択した要望図形の要望受付書を出力する
3	保存		コンテンツファイルを上書き保存する
	更新		
4	経過更新		選択した要望図形の経過情報を更新する
5	完了確認		選択した要望に完了情報を登録する
	要望の検索		
6	値検索		要望情報で絞り込みする
7	領域		範囲を指定して絞り込みする
	一覧表出力（水防）		
8	土のう帳票出力	○	期間を指定し、土のうに関する要望の履歴を出力する
9	その他要望帳票出力	○	期間を指定し、水防・災害に関するその他要望の履歴を出力する

・街路灯管理サブシステム

No.	機能名	帳票	説明
	出力		
1	工事指示書出力	○	選択した図形の工事指示書を出力します
2	工事結果取込		工事結果ファイルから情報を取得し、街路灯の情報を更新する

・3Dデータ表示サブシステム

No.	機能名	帳票	説明
	3次元視点移動		
1	マウス移動		任意の位置に視点を移動
2	エリア選択移動		選択した住所への視点移動
	主題地図切り替え		
3	主題地図選択		選択した主題地図に表示を切り替える機能
	属性情報の表示		
4	地物選択		地物を選択したら属性が表示できる機能
5	高さ情報の表示・出力		選択した建物の高さ情報の属性表示および出力できる機能
	背景地図の表示		
6	地図選択及び重ね表示		3D地形データ（DEM）の表示
7			2D表示
8			航空写真の表示

No	大分類	小分類	機能要件	詳細	記入欄
1	ポータルサイト	トップページ／ポータルサイト	ポータルサイト（トップページ）	公開型GISのポータルサイト（トップページ）を提供すること	
2			お知らせ／新着情報	ポータルサイト（トップページ）で新着情報やお知らせ等を表示できること	
3			操作方法説明	操作方法について説明するページを提供すること	
4			利用規約	利用規約について説明するページを提供すること	
5			地図選択表示	ポータルサイト（トップページ）で主題地図を選択し、表示する機能	
6			住所検索	ポータルサイト（トップページ）で住所検索を行ない、その結果を利用して地図を表示する機能	
7	パソコン向け地図表示機	移動・拡大・縮小	拡大・縮小	機能メニュー（＋ボタン）で表示地図を拡大・縮小する機能	
8			矢印キーボード移動	キーボードの矢印ボタンにより地図表示範囲を移動する機能	
9			矩形拡大	表示地図領域内でマウス選択した矩形領域を拡大表示する機能	
10			マウスホイールによる拡大縮小	マウスホイールの操作により地図を拡大・縮小する機能	
11			ドラッグ移動	マウス操作により地図をつかんだようにして移動させる機能	
12			主題地図	選択	主題地図の一覧から選択した主題地図に表示を切り替える機能
13		絞り込み・検索		キーワード検索による主題地図の絞り込み及び表示を切り替える機能	
14		透過度		主題地図の透過度を任意に変更できる機能	
15		レイヤ切替		主題地図内のレイヤの表示/非表示を切り替える機能	
16		背景地図	デフォルト設定	表示する主題地図に応じて、適切な背景地図に自動的に切り替える機能	
17			変更	重ね合わせ可能な他の背景地図に変更できる機能	
18		現在地表示	利用者の現在地を取得し、地図上に表示する機能		
19		中心位置住所取得	表示している地図の中心住所を取得・表示する機能		
20		全文検索	キーワードを任意に入力して情報を検索する機能		
21		住所検索	住所（地番）一覧または住所（地番）文字列から、住所を検索する機能		
22		目標物検索	目標物一覧から分類を選択することで目標物を検索する機能		
23		周辺情報表示	表示している地図の中心周辺の情報を検索し、結果を一覧表示する機能		
24		計測	緯度経度	指示した位置の緯度経度と住所を計測・表示する機能	
25			距離	連続指示したポイントを結ぶ直線の合計距離を計測・表示する機能	
26			面積	範囲指定した面積・周長を計測・表示する機能	
27				範囲指定した領域内の地物を絞り込み検索（含む・重なる等）する機能	
28				範囲指定した領域内の地物を串刺し検索する機能	
29			作図	シンボル	シンボル（ポイント）を作図する機能
30		文字		文字を作図する機能	
31		吹き出し		吹き出し文字を作図する機能	
32		線		頂点指定により線を作図する機能	
33		面		頂点指定により多角形を作図する機能	
34				作図した多角形領域内の地物を絞り込み検索（含む・重なる等）する機能	
35				作図した多角形領域内の地物を串刺し検索する機能	
36		円		2点指示にて円を作図する機能	
37		中心座標と半径を数値入力して円を作図する機能			
38		作図した円領域内の地物を絞り込み検索（含む・重なる等）する機能			
39		作図した円領域内の地物を串刺し検索する機能			
40	楕円	2点指示にて楕円を作図する機能			
41		作図した楕円領域内の地物を絞り込み検索（含む・重なる）する機能			
42		作図した楕円領域内の地物を串刺し検索する機能			
43	GPS情報付き写真（EXIF）の取込	GPS位置情報付きの画像ファイルを取り込む機能（写真位置にシンボルを作図する）			
44	KMLファイル取込	KMLファイルを作図図形として取り込む機能（ドラッグ＆ドロップ対応）			
45	KMLファイル出力	作図した図形をKMLファイルとして保存・出力する機能			
46	作図図形の一括削除	作図した図形を一括削除する機能			
47	ルート検索	地図上で出発地・到着地を指定	地図上で出発地・到着地を指定してルート検索する機能		
48	URL保存		表示している地図の状態（主題地図、位置、縮尺）をURLとQRコードで保存する機能		
49			作図した図形や情報をURLとQRコードで保存する機能		
50	2画面表示		地図画面を2画面分割表示する機能2画面の連動・非連動を切り替えられること		
51			2画面表示中も、主題地図の変更が出来ること		
52	索引図		索引図を表示/非表示する機能索引図での地図移動が行えること		
53	凡例		凡例を表示/非表示する機能		
54	詳細（属性）情報	詳細（属性）情報表示	地図上のアイテムの属性を詳細表示する機能		
55			地図上のアイテムの属性を詳細表示した情報パネルを複数表示する機能		
56			詳細情報を表示した地図上のアイテムを中心表示する機能		
57			詳細情報を表示した地図上のアイテムを目的地にルート検索する機能		
58	詳細（属性）情報一覧	一覧表示	選択したレイヤ上のアイテムの詳細（属性）情報を一覧表示する機能		
59			条件指定絞り込	一覧表示の内容を属性項目毎に条件指定して絞り込む機能	
60			2段階検索	絞り込み検索の結果に対して、さらにキーワードでアイテムの属性を検索する機能	
61			グラフ表示	一覧表示上で指定したフィールドの値を元に、円グラフ、棒グラフを描画する機能	
62	座標の一括出力	範囲指定	地図上で範囲指定し、範囲内の詳細（属性）情報（基準点名、座標等）を表示して印刷する機能		
63		詳細情報	選択したアイテムの詳細（属性）情報を表示して印刷する機能		
64	印刷	用紙サイズ選択	A4またはA3サイズを指定して印刷することができる機能		
65		表示設定	方位記号・縮尺・2次元コード・凡例・索引図・中心位置の表示/非表示を設定する機能		
66	PDF印刷	メモ	ヘッダー部分に任意の文字列を挿入して印刷する機能		
67		詳細情報	選択したアイテムの詳細（属性）情報を表示して印刷する機能		
68		用紙サイズ選択	A4またはA3サイズを指定して印刷することができる機能		
69		表示設定	方位記号・縮尺・2次元コード・凡例・索引図・中心位置の表示/非表示を設定する機能		
70	分割印刷	縮尺選択	出力縮尺を選択する機能		
71		用紙サイズ選択	A4またはA3サイズを指定して印刷することができる機能		
72		表示設定	方位記号・縮尺の表示/非表示を設定する機能		
73		縮尺選択	出力縮尺を選択する機能		
74		分割数指定	縦横の分割数を指定して印刷する機能		

No	大分類	小分類	機能要件	詳細	記入欄
75	スマートフォン向け地図表示機能	全画面表示		地図部分を全画面表示する機能	
76		オープンデータ	ダウンロード	予め公開設定したデータ（レイヤ）を利用者がダウンロード（CSV,Shape,KML）できる機能	
77			外部連携	オープンデータカタログサイトとの連携が出来る機能	
78		ポータルサイト	ポータルサイト	公開型GISのスマートフォン用ポータルサイトを提供すること	
79			お知らせ／新着情報	スマートフォン向けポータルサイトで新着情報やお知らせ等を表示できること	
80			利用規約	利用規約について説明するページを提供すること	
81		地図選択表示	地図選択表示	スマートフォン向けポータルサイトで主題地図を選択し、表示する機能	
82		地図移動	ドラッグパンニング	ドラッグパンニングにより地図表示範囲を移動する機能	
83			ピンチイン・ピンチアウト	ピンチイン・ピンチアウトにより地図を拡大・縮小表示する機能	
84			拡大・縮小	ズームボタンにより地図を拡大・縮小表示する機能	
85		主題地図選択		主題地図の一覧から選択した主題地図に表示を切り替える機能	
86		背景地図選択	デフォルト設定	表示する主題地図に応じて、適切な背景地図に自動的に切り替える機能	
87			変更	重ね合わせ可能な他の背景地図に変更できる機能	
88		住所検索		住所（地番）一覧または住所（地番）文字列から、住所を検索する機能	
89		現在地取得		GPSを利用して現在地を地図上に表示する機能	
90		ルート検索	地図上で出発地・到着地を指定	地図上で出発地・到着地を指定してルート検索する機能	
91		凡例		凡例の表示/非表示する機能	
92		詳細情報	詳細情報表示	詳細情報パネルにて属性を表示する機能	
93		移動・拡大・縮小	拡大・縮小	機能メニュー（＋ボタン）で表示地図を拡大・縮小する機能	
94			矢印キーボード移動	キーボードの矢印ボタンにより地図表示範囲を移動する機能	
95			矩形拡大	表示地図領域内でマウス選択した矩形領域を拡大表示する機能	
96			マウスホイールによる拡大縮小	マウスホイールの操作により地図を拡大・縮小する機能	
97			ドラッグ移動	マウス操作により地図をつかんだようにして移動させる機能	
98		主題地図	選択	主題地図の一覧から選択した主題地図に表示を切り替える機能	
99			絞り込み・検索	キーワード検索による主題地図の絞り込み及び表示を切り替える機能	
100			透過度	主題地図の透過度を任意に変更できる機能	
101			レイヤ切替	主題地図内のレイヤの表示/非表示を切り替える機能	
102		背景地図選択	デフォルト設定	表示する主題地図に応じて、適切な背景地図に自動的に切り替える機能	
103			変更	重ね合わせ可能な他の背景地図に変更できる機能	
104		作図	シンボル	シンボル（ポイント）を作図する機能	
105			文字	文字を作図する機能	
106			吹き出し	吹き出し文字を作図する機能	
107			線	頂点指定により線を作図する機能	
108			面	頂点指定により多角形を作図する機能	
109			円	2点指示にて円を作図する機能	
110				中心座標と半径を数値入力して円を作図する機能	
111			楕円	2点指示にて楕円を作図する機能	
112			複製	図形を複製する機能	
113			パツファ	図形のパツファを作図する機能	
114			合成	図形を合成する機能	
115			移動	図形を移動する機能	
116			頂点編集	図形の頂点を追加、削除、移動する機能	
117			削除	図形を削除する機能	
118			回転	図形を回転する機能	
119			拡大縮小	図形の大きさを変更する機能	
120			文字編集	文字の内容を編集する機能	
121			スタイル	図形のスタイルを変更する機能	
122			GPS情報付き写真（EXIF）の取込	GPS位置情報付きの画像ファイルを取り込む機能（写真位置にシンボルを作図する）	
123		主題地図情報編集機能	追加	主題地図にレイヤを追加する機能	
124			削除	主題地図からレイヤを削除する機能	
125			上下移動	レイヤの表示順を変更する機能	
126			凡例設定	凡例を設定する機能	
127			利用規約設定	利用規約文章を変更する機能	
128		レイヤ	詳細設定	名称、スケール、ステータス設定管理・編集する機能	
129			アップロード・ダウンロード	統合型GISのデータ形式、Shape形式でのダウンロード/アップロード、CSV形式でのダウンロード/アップロードをする機能	
130			属性項目	属性項目の設定・編集機能文字型、整数型、数値型、リンク型、日付型、選択肢型、通貨型、電話番号型、パノラマ写真型	
131	編集承認 （ワークフロー管理）	編集開始		システム管理者が作業担当者に対して主題地図編集権限を与える機能	
132		承認依頼		作業担当者が編集後に地図承認依頼をする機能	
133		承認		管理者が承認依頼中の地図を承認し、公開する機能	
134	システム管理機能	主題地図管理	追加	新規に主題地図を追加する機能	
135			編集	主題地図の設定内容を変更する機能	
136			地図編集・公開	システム管理者がすべての地図編集と公開をすることが出来る権限をもてること	
137		ユーザー管理	追加	利用（閲覧、編集、承認）ユーザを追加する機能	
138			編集	ユーザの設定内容を変更する機能	
139			削除	ユーザを削除する機能	
140			パスワードの再設定	パスワードを変更出来る機能	
141		ポータルサイト管理機能	ポータルサイト管理機能	ポータルサイトの情報（地図選択画面・お知らせ、新着情報画面）を追加・編集・削除することが出来る機能	
142		ログ閲覧	ログ表示	アクセスログを絞り込み表示（日付、主題地図、操作）する機能	
143			CSV出力	アクセスログをCSV形式で出力する機能	
144			クリア	アクセスログを削除する機能	
145		タスク管理		あらかじめ設定したタスクを定期実行 実行状態を一覧表示する機能	

別紙 2 - 4 機能要件確認書

○窓口システム

※記入欄にいずれかを選択入力 (1対応可能、2オプション/カスタマイズで対応可能(追加費用)、3対応不可)

来庁者向けにタッチパネルディスプレイを用いて、道路台帳や都市計画データ等の閲覧・印刷が行える

No.	システム/主題地図名	帳票	印刷物	記入欄
	道路台帳閲覧複写システム			
1	道路基本情報	○	関連図書 (区域変更図)、地図印刷	
2	建築基本情報	○	地図印刷	
3	現況平面図	○	地図印刷	
4	道路境界情報	○	関連図書 (境界確定)	
5	管理区域情報	○	公共物 (道路・水路) 管理区域資料	
6	地籍調査	○	地籍調査成果資料	
7	公共基準点	○	公共基準点配置図、関連図書 (点の記・成果表)	
8	区画整理図	○	関連図書 (区画整理閲覧図)	
9	ハザードマップ	○	地図印刷	
10	浸水箇所			
11	主要生活道路			
	道路占用等システム			
12	すぎなみマップ			
13	住宅地図			
14	舗装種別			
15	カラー舗装	△	閲覧のみ・印刷不可関連図書 (カラー舗装)	
16	都市計画図			
17	都市計画施設			
18	現況平面図			
19	土木維持係			
20	警察署			
21	一方通行			
22	通学路線図			
23	橋梁	△	閲覧のみ・印刷不可関連図書 (現在関連図書は非表示と思われる※LINKS列なし)	
24	掘削規制			
25	指定道路図			
26	基準点			
27	商店会			
28	町会			
	狭あい・開発窓口システム			
29	すぎなみマップ			
30	住宅地図			
31	指定道路図			
32	位置指定	△	閲覧のみ・印刷不可関連図書 (告示建築線、道路位置指定図)	
33	開発行為	△	閲覧のみ・印刷不可関連図書 (開発登録簿)	
34	二項協議			
35	道路境界	△	閲覧のみ・印刷不可関連図書 (境界確定)	
36	区域変更	△	閲覧のみ・印刷不可関連図書 (区域変更図)	
37	都市計画図			
38	都市計画施設			
39	地番地図			
	境界確定等閲覧システム			
40	すぎなみマップ			
41	住宅地図			
42	道路境界	△	閲覧のみ・印刷不可関連図書 (境界確定)	
43	区域変更	△	閲覧のみ・印刷不可関連図書 (区域変更図)	
44	指定道路図			
45	基準点			
46	地籍調査			
47	地番地図			
	浸水被害等閲覧システム			
48	すぎなみマップ			
49	住宅地図			
50	ハザードマップ			
51	浸水箇所			
52	浸水被害(H16まで)			
53	浸水被害(H17以降)			
54	主要生活道路			
55	都市計画図			
56	都市計画施設			

	管理者用J道路台帳閲覧複写システム			
57	すぎなみまっぷ	○	関連図書（区域変更図、公共用地測量委託(閲覧用)）	
58	住宅地図			
59	指定道路図			
60	現況平面図	○	地図印刷	
61	路線番号			
62	境界確定図	○	関連図書（境界確定）、申請書・証明書印刷	
63	管理区域	○	公共物（道路・水路）管理区域資料	
64	地籍調査	○	地籍調査成果資料、申請書・証明書印刷	
65	基準点	○	公共基準点配置図、関連図書（点の記・成果表）	
66	道路敷地構成図	○	地図印刷	
67	区画整理図	○	関連図書（区画整理閲覧図）	
68	道路認定図書	○	関連図書（道路線公示縦覧図、区有通路）	
69	管理用測量図	○	関連図書（水路敷境界確定測量図、公共用地測量委託(閲覧用)）	
70	測定基図			
71	地番地図			
	都市計画閲覧システム			
72	住宅地図			
73	都市計画図			
74	都市計画施設			

別紙3 非機能要件確認書

○公開型GIS

※記入欄にいずれかを選択入力（1対応可能、2オプション/カスタマイズで対応可能（追加費用）、3対応不可）

項番	大項目	中項目	メトリクス (指標)	要求目標等	補足説明等	記入欄
A.1.3.1	可用性	継続性	RPO(目標 復旧地点) (業務停止 時)	平常時、業務停止を伴う障害が発生した際には、5営業日前 の時点(週次バックアップからの復旧)までのデータ復旧を目 標とすること	RPO:業務停止を伴う障害が発生した際、 バックアップしたデータなどから情報シス テムをどの時点まで復旧するかを定める 目標値	
A.1.3.2			RT0(目標 復旧時間) (業務停止 時)	平常時、業務停止を伴う障害が発生した際には、1営業日以 内でのシステム復旧を目標とすること	RT0:業務停止を伴う障害(主にハード ウェア・ソフトウェア故障)が発生した際、 復旧するまでに要する目標時間	
A.1.3.3			RLO(目標 復旧レベ ル)(業務 停止時)	平常時、業務停止を伴う障害が発生した際には、一部システ ム機能の復旧を実施すること	RLO:業務停止を伴う障害が発生した際、 どこまで復旧するかレベル(特定システ ム機能・すべてのシステム機能)の目標値	
A.1.4.1			システム 再開目標 (大規模災 害時)	大規模災害時、情報システムに基大な被害が生じた場合、情 報システムは、数ヶ月以内に再開することを目指す		
A.1.5.1		災害対策	稼働率	年間のシステム稼働率は、99.5%を目標とすること		
A.3.1.1			復旧方針	ディスクアレイなどの外部記憶装置を物理的に複数台用意し、 同一の構成で情報システムを再構築すること		
A.3.2.1			保管場所 分散度	遠隔地へのデータ保管は、ベンダーによる提案事項とすること		
A.3.2.2			保管方法	地震、水害、テロ、火災などの大規模災害発生により被災した 場合に備え、運用サイトとは別途で、媒体による保管により、 データ・プログラムを保管する場所を設置すること		
B.1.1.1	性能・拡張 性	業務処理 量	ユーザ数	情報システムの利用者数は、上限が決まっている		
B.1.1.2			同時アク セス数	情報システムの同時アクセス数は、同時アクセスの上限が決 まっている	同時アクセス数:ある時点で情報システ ムにアクセスしているユーザ数のことパッ ケージソフトやミドルウェアのライセンス価 格に影響することがある	
B.1.1.3			データ量 (項目・件 数)	情報システムのデータ量は、ベンダーによる提案事項とすること	利用期間中に想定される申請手続の数や 添付データの内容・種類等を勘案し、必要 と想定されるデータ量を見込むこと	
B.1.1.4			オンライン リクエスト 件数	情報システムのオンラインリクエスト件数は、ベンダーによる 提案事項とすること	オンラインリクエスト件数:単位時間ごとの 業務処理件数性能・拡張性を決めるため の前提となる項目	
B.1.1.5			バッチ処 理件数	情報システムの業務処理件数は、ベンダーによる提案事項と すること		
B.1.2.1			ユーザ数 増大率	情報システムのバッチ処理件数は、仕様の対象としない	利用期間中に想定される申請手続の数や 添付データの内容・種類等を勘案し、想定 される増大率を見込むこと	
B.1.2.2			同時アク セス数増 大率	情報システムの同時アクセス数は、ベンダーによる提案事項 とすること	利用期間中に想定される申請手続の数や 添付データの内容・種類等を勘案し、想定 される増大率を見込むこと	
B.1.2.3			データ量 増大率	情報システムのデータ量増大率は、ベンダーによる提案事項 とすること	利用期間中に想定される申請手続の数や 添付データの内容・種類等を勘案し、想定 される増大率を見込むこと	
B.1.2.4			オンライン リクエスト 件数増大 率	情報システムのオンラインリクエスト件数増大率は、ベンダー による提案事項とすること	利用期間中に想定される申請手続の数や 添付データの内容・種類等を勘案し、想定 される増大率を見込むこと	
B.1.2.5			バッチ処 理件数増 大率	情報システムのバッチ処理件数増大率は、ベンダーによる提 案事項とすること	利用期間中に想定される申請手続の数や 添付データの内容・種類等を勘案し、想定 される増大率を見込むこと	
B.2.1.4		性能目標 値	通常時オン ラインレス ポンスタイ ム	通常業務時のオンラインレスポンスタイムは、規定しない	オンラインレスポンスタイム:オンラインシ ステム利用時に要求されるレスポンス システム化する対象業務の特性を踏ま え、どの程度のレスポンスが必要かにつ いて確認するアクセスが集中するタイミ ングの特性や、障害時の運用を考慮し、通 常時・アクセス集中時・縮退運転時ごとに レスポンスタイムを決める	
B.2.1.5			アクセス集 中時のオン ラインレス ポンスタイ ム	業務繁忙等によるアクセス集中時のオンラインレスポンスタイ ムは、規定しない		
B.2.2.1			通常時バ ッチレス ポンス順 守度合い	通常時のバッチレスポンスタイムは、順守度合いを定めないこ と	バッチレスポンス:バッチシステム利用時に要 求されるレスポンス システム化する対象業務の特性を踏まえ、ど の程度のレスポンス(ターンアラウンドタイム) が必要かについて確認する更に、アクセスが 集中するタイミングの特性や、障害時の運用を 考慮し、通常時・ピーク時・縮退運転時ごとに 順守度合いを決める	
B.2.2.2			アクセス集 中時のバ ッチレス ポンス順 守度合い	業務繁忙等によるアクセス集中時のバッチレスポンスタイム は、順守度合いを定めないこと		
C.1.1.1	運用・保守 性	通常運用	運用時間 (平日)	情報システムの平日運用時間は、24時間利用を前提とすること		
C.1.1.2			運用時間 (休日等)	情報システムの休日運用時間は、24時間利用を前提とすること		
C.1.2.2			外部デー タの利用 可否	データ復旧の際、外部データの利用は、一部のデータ復旧に 利用できること		

C.1.2.3		データ復旧の対応範囲	データ復旧の対応範囲は、障害発生時のデータ損失防止とすること		
C.1.2.5		バックアップ取得間隔	バックアップの取得間隔は、システム構成の変更時など、任意のタイミングとすること		
C.1.3.1		監視情報	情報システムの監視については、エラー監視を行うこと		
C.2.3.5	保守運用	OS等パッチ適用タイミング	OS等のパッチについては、緊急性の高いパッチは即時に適用し、それ以外は定期保守時に適用を行うことを目標とする	OS等パッチ情報の展開とパッチ適用のポリシーに関する項目OS等は、OS、ミドルウェア、その他のソフトウェアを指す	
C.4.3.1	運用環境	マニュアル準備レベル	運用マニュアルについては、各製品標準のマニュアルを利用すること		
C.4.5.1		外部システムとの接続有無	情報システムにおける外部システムとの連携は、ベンダーによる提案事項とすること		
C.5.2.2	サポート体制	保守契約（ソフトウェア）の種類	情報システムのソフトウェア保守契約種類は、問い合わせ対応をベンダーが実施すること		
C.5.3.1		ライフサイクル期間	情報システムのライフサイクル期間は、5年とすること		
C.5.9.1		定期報告会実施頻度	運用の定期報告は、四半期に1回程度実施すること		
C.5.9.2		報告内容のレベル	保守の定期報告は、ベンダーによる提案事項とすること		
C.6.2.1	その他の運用管理方針	問い合わせ対応窓口の設置有無	運用保守時の問い合わせ窓口については、ベンダーの既設コールセンターを利用すること		
D.1.1.1	移行性	移行時期	システム移行期間	既存システムから新システムへの移行期間は、3ヶ月未満とすること	
D.1.1.2		システム停止可能日時	システム移行時のシステム停止可能日時は、1日（計画停止日を利用）とすること		
D.1.1.3		並行稼働の有無	システム移行時の並行稼働期間は、無しとすること		
D.3.1.1	移行対象（機器）	設備・機器の移行内容	現行システムで利用している設備・機器は、移行対象無しとする		
D.4.1.1	移行対象（データ）	移行データ量	現行システムから新システムへ移行するデータについては、ベンダーによる提案事項とすること		
D.5.1.1	移行計画	移行のユーザ/ベンダー作業分担	現行システムから新システムへのデータ移行作業は、ユーザとベンダーと共同で実施すること		
E.1.1.1	セキュリティ	前提条件・制約条件	順守すべき規程、ルール、法令、ガイドライン等	遵守すべき規程、ルール、法令、ガイドライン等は、有りとする	
E.2.1.1		セキュリティリスク分析	リスク分析範囲	システム開発実施において、セキュリティリスクの分析なしとすること	
E.3.1.2		セキュリティ診断	Web診断実施の有無	情報システムのWeb診断は、実施すること	
E.4.3.4		セキュリティリスク管理	ウィルス定義ファイル適用タイミング	システム脆弱性等に対応するためのウィルス定義ファイルについては、定義ファイルリリース時に実施すること	
E.5.1.1		アクセス・利用制限	管理権限を持つ主体の認証	情報システムの認証方法は、1回とすること	
E.5.2.1			システム上の対策における操作制限	情報システムへの操作制限は、必要最小限のプログラムの実行、コマンドの操作、ファイルへのアクセスのみを許可すること	
E.6.1.1	データの秘匿	伝送データの暗号化の有無	伝送データについては、認証情報のみ暗号化すること		
E.6.1.2		蓄積データの暗号化の有無	蓄積データについては、認証情報のみ暗号化すること		
E.7.1.1	不正追跡・監視	ログの取	ログの取得については必要なログを取得すること		
E.7.1.3		不正監視対象（装置）	不正監視対象は、重要度が高い資産を扱う範囲、あるいは、外接部分とすること		
E.10.1.1	Web対策	セキュアコーディング、Webサーバの設定等による対策の強化	セキュアコーディング、Webサーバの設定等は、対策の強化すること	Webアプリケーション特有の脅威、脆弱性に関する対策を実施するかを確認するための項目Webシステムが攻撃される事例が増加しており、Webシステムを構築する際には、セキュアコーディング、Webサーバの設定等による対策の実施を検討する必要がある	
E.10.1.2		WAFの導入の有無	WAFの導入は、無しとすること	Webアプリケーション特有の脅威、脆弱性に関する対策を実施するかを確認するための項目WAF※とは、Web Application Firewallのことである	

F.1.1.1	システム環境・エコロ ジー	システム 制約/前提 条件	構築時の 制約条件 運用時の 制約条件	システム構築時には、条例等の制約無しとすること		
F.1.2.1				システム運用時には、制約無しとすること		

※本資料は、地方共同法人地方公共団体情報システム機構がホームページで公開している「非機能要求グレード活用シート(地方公共団体版)業務・情報システム分類グループ②」を用いて、必要箇所を抽出し作成(https://www.j-lis.go.jp/rdd/chyousakenkyuu/cms_92978324-2.html)
※「項番」は、当該シートの内容記載しており、再附番は行っていない

別紙 4

提 出 書 類 一 覧

No.	提出書類		部数
1	参加申込	参加意向表明（様式 1）	正本 1 副本 1 PDFデータ 1
2	企画提案書等提出書類一覧	企画提案書等提出書類一覧 （様式 2）	
3	会社概要資料	① 会社概要（様式 3）	
		② 履歴事項全部証明書	
		③ 取得規格認証書の写し （ISO 9001、JISQ27001、 プライバシーマーク等）	
		④ 納税証明書	
4	直近 3 年分の財務諸表	① 収支決算書	
		② 貸借対照表	
		③ 損益計算書	
		④ 株主資本等変動計算書	
		⑤ キャッシュ・フロー計算書 （作成している場合）	
5	企画提案	① 企画提案書	正本 1 副本 7 PDFデー タ 1
		② 企画提案書概要版	PDFデータ 1

注意事項

- ① 参加事業者全者の企画提案書概要版は区ホームページで公表します。
- ② 企画提案書には配置予定技術者（主任技術者、担当技術者）及び業務責任者、配置予定技術者が所有する技術者資格、実務経験年数を明記し、資格及び事業者との雇用関係を証する書類を添付してください。
- ③ 企画提案書には別紙 2,3 に対する機能要件の可否（1、2、3）について機能要件一覧表を添付してください。
- ④ 企画提案書には見積をイニシャルコストとランニングコストに分け、算定根拠（品名・数量・工数・単価等の内訳・積算根拠式）を明記の上、見積書として添付してください。

サービス提供に関するサービスレベル

(1) SLA (サービス・レベル・アグリーメント)

	目標値・保証値を設定する項目	目標値・保証値	利用料金の減額
1	サービス稼働率	目標値: 99.95%(庁内 GIS 年間) 99.5%(庁外 GIS 年間)	月間の稼働率が保証値を下回った場合、0.1%低下ごとに当月の利用料金の 5%を減額します。
	【計算方法】 サービス稼働率＝実際の稼働時間÷(所定のサービス提供時間－予定された停止時間－免責される停止時間)×100 ※所定のサービス提供時間:24 時間 365 日 ※予定された停止時間:事前に杉並区に告知の上行うメンテナンス等に伴う計画停止時間 ※免責される停止時間:不可抗力その他弊社の責によらずサービスが停止した時間		
2	ヘルプデスクの営業時間稼働率	目標値:99.9%	目標値のため減額なし
	【計算方法】 ヘルプデスクの営業時間稼働率＝実際の稼働時間÷(所定の営業時間－予定された停止時間－免責される停止時間)×100 ※所定の営業時間:祝日及び弊社定休日を除く、月曜～金曜の 8:30～18:00 ※予定された停止時間:事前に杉並区に告知の上営業を停止した時間 ※免責される停止時間:不可抗力その他弊社の責によらず営業を停止した時間		
3	メンテナンス等に伴う計画停止の告知	告知期限の保証値:計画停止実施日の 2 週間前まで	保証値を下回った場合は、遅延 1 回につき当月の利用料金の 5%を減額します。
	【告知方法】 計画停止を実施する 2 週間前までに、計画停止を実施する日時を弊社指定の URL 上に掲載し、又は杉並区が本サービスにおいて届け出た連絡先メールアドレス宛に通知します。		
4	緊急メンテナンス等によりサービス停止を行う場合の告知	告知期限の目標値:停止前まで	目標値のため減額なし
	【告知方法】 停止前までに、停止日時を、杉並区が本サービスにおいて届け出た連絡先メールアドレス宛に通知します。		
5	インシデント発生時の通知(一次通知)	通知期限の保証値:検知から 1 時間以内	保証値を下回った場合は、遅延 1 回につき当月の利用料金の 5%を減額します。
	【定義】 (1) インシデント:以下に定める「重大インシデント」と「障害」を総称する。 (2) 重大インシデント:本サービスにおける不正アクセス・DoS 攻撃、本サービスのマルウェア感染、本サービスに保存された情報の漏洩・改ざんのいずれか又は複数の事象が発生したこと、及び		

	これらを原因として発生した本サービスの稼働停止、機能低下等の不具合をいう。 (3) 障害: 重大インシデント以外の原因から生じる本サービスの稼働停止、機能低下等の不具合(本サービスの稼働に支障のない軽微な不具合、バグ等を除く)をいう。 (4) 一次通知: インシデントが発生したことを杉並区に通知することをいう。一次通知には、インシデントの検知日時及び内容が含まれる。 ①重大インシデントの一次通知・障害が弊社の営業時間(上記2の「※所定の営業時間」参照。以下同じ)内に検知された場合の一次通知 →弊社が重大インシデント又は障害を検知した場合、その時点から原則1時間以内に、杉並区が本サービスにおいて届け出た連絡先メールアドレス宛に一次通知を行います。 ②障害が弊社の営業時間外に検知された場合の一次通知 →翌営業日の午前9時に当該障害発生が検知されたものとみなし、その時点から1時間以内に、杉並区が本サービスにおいて届け出た連絡先メールアドレス宛に一次通知を行います。 ※一次通知前に復旧した場合には復旧通知を行い一次通知は省略する場合があります。		
6	インシデント復旧予定の通知(二次通知) 【定義】 (1) 復旧: インシデント発生前の正常な稼働状態に戻すことその他、その前段階である以下の対応を含む。 ・重大インシデントの場合: 本サービスを直ちに停止する、又は問題のある部分を直ちに切り離すこと。 ・障害の場合: ユーザーに対し障害を回避する方法や代替案を周知する等のワークアラウンド対応を行うこと。 (2) 二次通知: インシデントの発生状況(原因、影響等)、対応状況及び復旧予定日時(復旧の見通しが立たない場合は未定の旨)を杉並区に通知することをいう。 ①重大インシデントの二次通知・障害が弊社の営業時間内に検知された場合の二次通知 →弊社が重大インシデント又は障害を検知した時点から3時間以内に、杉並区が本サービスにおいて届け出た連絡先メールアドレス宛に二次通知を行います。	通知期限の目標値: 検知から3時間以内	目標値のため減額なし

	②障害が弊社の営業時間外に検知された場合の二次通知 →障害が翌営業日の午前 9 時に検知されたものとみなし、その時点から 3 時間以内に、杉並区が本サービスにおいて届け出た連絡先メールアドレス宛に二次通知を行います。 ※二次通知前に復旧した場合には復旧通知を行い二次通知は省略する場合があります。		
7	インシデント復旧の通知(復旧通知) 【定義】 復旧通知:復旧したこと、復旧日時及び復旧に要した対応内容を杉並区に通知することをいう。 ①重大インシデントの復旧通知・障害が弊社の営業時間内に検知された場合の復旧通知 →弊社が重大インシデント又は障害を検知した時点から 6 時間以内に、杉並区が本サービスにおいて届け出た連絡先メールアドレス宛に復旧通知を行います。 ②障害が弊社の営業時間外に検知された場合の二次通知 →障害が翌営業日の午前 9 時に検知されたものとみなし、その時点から 6 時間以内に、杉並区が本サービスにおいて届け出た連絡先メールアドレス宛に復旧通知を行います。	通知期限の目標値:検知から 6 時間以内にメールにて通知	目標値のため減額なし
8	オンライン応答時間遵守率 ①「公開型 GIS 連携システム」のオンライン応答時間遵守率 【計算方法】 オンライン応答時間遵守率=レスポンス(※1)が x 秒(※2)以内のリクエスト数 ÷ 全リクエスト数 × 100 ※1:データセンター内の計測用プログラムから、本サービスに定期的にリクエストを行い、応答時間を計測する。 ※2:地図ウィンドウの初回立ち上げ時:x=10 地図ウィンドウの初回立ち上げ時以外:x=3 ②「公開型 GIS サイト」のオンライン応答遵守率 【計算方法】 オンライン応答時間遵守率=初期画面及び地図画面におけるレスポンス(※1)が 3 秒(※2)以内のリクエスト数 ÷ 全リクエスト数 × 100 ※1:データセンター内の計測用プログラムから、本サービスに定期的にリクエストを行い、応答時間を計測する。 ※2:地図画面の初回立ち上げ時は計測の対象としない。	目標値: ① については、実効 10Mbps 以上の接続回線において、遵守率 90%以上 ② については、実効 10Mbps 以上の接続回線において、初期画面及び地図画面の表示時間が 3 秒以内の遵守率 90%以上	目標値のため減額なし
9	ウイルス定義ファイルの更新	更新期限の目標値:ウイルス定義ファイル公開の時点から 24 時間以内	目標値のため減額なし

10	セキュリティパッチの適用の緊急性の判別と適用実施	目標値:セキュリティパッチ 公開日から3営業日以内に適用	目標値のため減額なし
	【判別及び適用の手順】 セキュリティパッチ公開後、緊急適用の要否の判別を行い、適用を必要と判断した場合はセキュリティパッチ公開日から3営業日(弊社の営業日:上記2の「※所定の営業時間」参照)以内に適用する。		
11	バックアップの実施	データ破損時のリカバリー ポイントの目標値:1日以内	目標値のため減額なし
	①「公開型 GIS 連携システム」のバックアップ内容: ・日次でフルバックアップし3世代を保存する。 ・データ破損時のリカバリーポイントは1日以内とする。 ②「公開型 GIS」のバックアップ内容: ・週1回フルバックアップ、その他6日間は差分をバックアップのうえ、いずれもバックアップデータを3週間分保存する。 ・データ破損時のリカバリーポイントは1日以内とする。		

(2) SLA の報告

SLA の遵守状況を、毎月、サービスレベル提供報告書において報告します。

各項目について適否判断、未達時においては、その内容等に関して一覧表形式にてとりまとめます。性能条件等の適否判断に必要となる根拠資料として、各種性能検査を行った際の検査結果の報告書も併せて提出します。

(3) 未達時の措置

上記(1)に記載の項目に関し利用料金の減額に該当する事象が発生した場合、杉並区から6ヶ月以内(当該事象の発生について弊社指定の URL 上に掲示した日を起点とします)に書面により請求があった場合に限り、利用料金を減額いたします。減額分の利用料金の精算方法については、別途杉並区と弊社との間で書面にて定めるものとします。

上記(1)に記載の項目に関し保証値が未達成の場合の弊社の責任は、利用料金の減額に限られるものとします。弊社は、保証値が未達成の場合であっても、別途杉並区との間で明示的に合意した契約条項に特段の定めがある場合を除き、改善報告書の作成その他の措置の実施義務を負いません。

(4) SLA の見直しについて

締結された SLA について運用上問題が発生した場合は、随時見直しを行うとともに、杉並区および弊社において合意した場合については、SLA の内容の変更を行います。